

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインと其中的漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

がん医療におけるこころのケアガイドラインシリーズ 1 がん患者におけるせん妄ガイドライン 2022 年版

一般社団法人 日本サイコオンコロジー学会、一般社団法人 日本がんサポーターティブケア学会
金原出版、2022 年 6 月 10 日 発行

Minds 掲載 無

■1 抑肝散

疾患:

せん妄

有効性に関する記載ないしその要約:

3 今後の検討課題 —2 臨床疑問として、今後の検討が必要なこと として以下の記載がある。

1) せん妄の予防

「がん患者のせん妄予防を目的とした抗精神病薬以外の薬剤(ラメルテオン、スボレキサン、レンボレキサント、抑肝散など)の有効性と安全性について検討」

2) せん妄の治療

「がん患者のせん妄に対する抗精神病薬以外の薬剤(ラメルテオン、スボレキサン、レンボレキサント、抑肝散、Z-drug、デクスメドミジンなど)の有効性と安全性についての検討」

備考:

「がん患者におけるせん妄ガイドライン」(2019)初版の改訂版

前回記載なし